

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年6月5日（水） NO7 文責 きした 木下 ふみあき 文秋

コミュニケーション能力

最近では便利な時代となって、LINEやメールその他のツールを使って簡単に会話ができるようになりました。私たちだって「〇〇については、～のようになりました。詳細は別添のとおりです」とメールを送れば「承知しました」という返信が来て、これで会話が成立します。それ以前は、互いに顔を付き併せて、会話をする中で、雲った表情や険しい表情、笑顔などを見ることで相手のトーンが伝わったものです。そして、相手やケースによって、言い方を変えたり、言葉を選んだり、余計なことは言わなかったりしていました。つまり、会話を通してこういうことを学習していたのです。しかし、今はこういった会話が少なくなり、いわゆるコミュニケーションツールで済むことが多くなり、昔のような経験値がとても少なくなりました。争いごとになる前のワンクッションがなくなりつつあり、些細なことで仲たがいをしたり、グループ同士でいい争いをしたりすることが多くなったと思います。スマホを否定するものではありません。だけど、前述のとおり、相手の困った表情、泣きそうな表情を見ることで、自分の出方を熟慮することはとても大事なことでした。私は、全ての人と仲良くすることはとても難しいと思います。クラスに40名弱の仲間がいます。部活動にだって数名の友達があります。その人たちと、どんな時だって意気投合するとは限らないのが現実です。受け入れられない、何となく好きではないという人だっているでしょう。それはそれでいいのです。無理に近づいたり、仲よくしようとしたりせず、そんなときは程よい距離を置くことが大事だと思います。しかし、間違っても「私はあの人が嫌い」と言うことがあってはならないと思います。すべての人と仲良くできればそれがベストですけど、大人の世界でもそう簡単には行きません。相手の人権を尊重しながら上手に生きていくことがとても大事なことだと思います。便利な時代となり、コミュニケーション能力が乏しくなりつつあります。相手の目を見て会話をして、相手の表情をみて、相手の心情を察し、言葉を選ぶ、行動を変える。そんな努力をすることで正しいコミュニケーション能力が身につくと思います。これからももっともっと時代は変化していきます。その時代を生きていく中学生には、文明の利器に頼るだけでなく、自分の言葉や行動で相手と正しく接する力を身に付けて欲しいと願います。